豊岡市

2025年
11月発行
第103号

# 議会だより




全国市町村交流レガッタ、豊岡チーム集合！ ⇒ 関連記事 P19

## もくじ

９月定例会の報告……2～ 5
一般質問に17人……6～15
意見書・請願……15
委員会管外視察報告……16～17
委員会懇談会報告……18
６月定例会委員会意見と当局回答・市町村交流レガッタ報告……19
議会を傍聴して・12月定例会のお知らせ・編集後記……20

発行：豊岡市議会
編集：議会広報広聴特別委員会
〒668-8666
豊岡市中央町2-4
Tel：0796-23-1119
Fax：0796-24-8041
E-mail gikai@city.toyooka.lg.jp
URL https://www.city.toyooka.lg.jp

# 一般会計歳入歳出決算
# 賛成多数で認定
# 補正予算案は全会一致で可決



**【補正予算の概要】**

| | | |
|---|---|---|
| ・住宅用太陽光発電設備等導入補助 | 1,170万円 | |
| ・豊岡市老人福祉計画・第10期介護保険事業計画の策定 | 565万円 | |
| ・中小企業奨学金返済支援制度の創設 | 225万円 | ほか |

専決処分したものの承認、放棄した債権の報告、物件購入契約、条例の一部を改正する条例制定、補正予算、歳入歳出決算の認定、意見書、請願・陳情の審査結果などを審議しました。

主な議案の審議状況をお知らせします。



ホームページでも議会の情報をご覧いただけます。 豊岡市議会 検索 ポチッ

## 《賛否が分かれた議案》

**第80号議案　令和６年度豊岡市一般会計歳入歳出決算の認定**（4・5ページをご参照下さい。）
**第81号議案　令和６年度豊岡市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定**

**【第81号議案　反対討論（要旨）】**

国保は低所得者が多く、諸物価が上がる中での３年連続値上げである。国保基金から十分な繰り入れを行い、引き上げを防ぐべきである。よって、決算の認定には反対である。

（日本共産党豊岡市会議員団議員）

**【第81号議案　賛成討論（要旨）】**

国民健康保険制度は、市にとって大変重要な基本的な医療保険制度である。国民健康保険事業については、国民健康保険運営協議会で審議された結果を受けたものであり、適正であると判断し、決算の認定には賛成である。

（豊義会議員）

賛否の分かれた決算認定議案（閉会日）




# 9月 定例会 議案審議

8月29日～9月26日（29日間）

## 意見が分かれた議案の賛否一覧表

本会議での賛否を公開します。掲載のない議案は全会一致で可決されました。

賛成は「○」、反対は「×」、議長は採決に加わらないので「／」で表示しています。

| 会派名 | 豊義会 | | | | | | | | | 令和とよおかクラブ | | | | ひかり | | | 日本共産党豊岡市会議員団 | | | 豊岡市議会公明党 | | ともにとよおか。 | 青松 | ことのは | 審議結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 議案名等＼議員名 | 浅田徹 | 荒木慎大郎 | 岡本昭治 | 小森弘詞 | 芹澤正志 | 中尾浩二 | 前田敦司 | 森垣康平 | 米田達也 | 石田清 | 清水寛 | 田中藤一郎 | 福田嗣久 | 太田智博 | 西田真 | 義本みどり | 上田伴子 | 須山泰一 | 村岡峰男 | 芦田竹彦 | 竹中理 | 山田貴久 | 松井正志 | 加藤勇貴 | |
| 第80号議案　令和６年度豊岡市一般会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ／ | ○ | 可決 |
| 第81号議案　令和６年度豊岡市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ／ | ○ | 可決 |

# 決算

## 一般会計493億円はこんな事業に使われました！

～日々の生活に密着したものをピックアップして紹介します～

**議会はココが気になった！**



### 消防活動装備の充実

### 決算額 2,627万円

近年の気象状況を勘案し、夏季の暑熱環境下での消防団員の活動時の身体的負担と熱中症予防対策のため、城崎、日高、出石消防団に、夏用の活動服を貸与。

豊岡、竹野、但東消防団については、令和７年度に貸与する予定。

### 太陽光発電システムの導入補助

### 決算額 1,250万円

電気代高騰、災害時の電源確保の必要性等の要因により、完全自家消費型太陽光発電システムや蓄電池システムのニーズが高まっている。

そのため、再生可能エネルギーの導入を促進し、脱炭素に向けた動きをさらに加速させるため、補助金を拡充。





### 災害対応ドローンの導入

### 決算額 370万円

災害対応ドローンを導入し活用することで、災害発生時に俯瞰的視点からの情報収集が可能となり、被害状況や災害推移の把握等、高所からの視点を最大限に活かした消防活動を展開する。

### 令和６年度　豊岡市決算の概要（一般会計）

**歳　入**　市税、県支出金などが減収となった一方で、地方特例交付金、財産収入、寄附金、市債などが増収となり、前年度と比較して約16億円の増額となりました。

**歳　出**　2024年度は農林水産業費、公債費などが減額となった一方で、総務費、民生費、消防費、教育費などが増額となり、前年度と比較して約14億円の増額となりました。

# 令和６年度



## 豊岡市危険空家除却支援事業補助
## 決算額 254万円

空家は増加傾向にあり、早期の対策が必要となっている。保安上危険となるおそれのある空家に対する除却費補助制度を創設し、所有者自身による早期除却を促す。

補助金交付要綱に定める危険空家判定基準により判定を行い、一定の点数以上となったものに対し、補助対象経費の1/6以内とし、33万3,000円を上限としている。

## 有害鳥獣駆除対策
## 決算額 １億2,022万円

特に被害が大きいシカ対策として、シカ捕獲専任班の継続実施等により、捕獲を進める。

鳥獣被害対策員２名と集落支援員１名の配置、一般駆除や一斉駆除の業務委託、集落による捕獲柵・防護柵の設置や新規狩猟免許取得支援、60歳以上の高齢者による防護柵の設置に係る助成等を行う。



## 公共施設予約システム 決算額 4,451万円

スマートフォン等から公共施設の空き状況の確認、予約、使用料の支払い、扉の施解錠が可能に。





## 校内サポートルームの設置と支援員の配置 決算額 2,962万円

不登校の児童生徒の学びの場を確保するため、個に応じた学習や生活の支援を行えるよう、市内全中学校と児童数の多い４小学校に校内サポートルーム支援員を配置。

## 《賛否が分かれた議案》一般会計決算認定

**【第80号議案 反対討論（要旨）】**

個人市民税の所得に対しての超過課税を課しているのは豊岡市だけである。早急な見直しを求める。

コウノトリ但馬空港利用促進補助金については、運賃の半額近い補助金をいつまで続けるのか。補助率は見直すべきである。

障害者等の外出支援サービス事業における利用料金の大幅な引き上げについて、引き上げ率2.26倍は利用者にとって過酷な料金となり検討を求める。

学校給食費については、少子化の中で全国の７割の自治体が無償化に踏み切っている。本市もそれを目指すべきである。　（日本共産党豊岡市会議員団議員）

**【第80号議案 賛成討論（要旨）】**

市民税及び固定資産税の超過課税は、都市計画税の廃止に伴う代替財源として市全域課税と認めてきたものであり、主に下水道事業の起債償還に充当している。

コウノトリ但馬空港は、豊岡市が将来にわたり魅力ある地域であるための基盤インフラである。空港需要の拡大を支える利用促進の補助金は必要である。

外出支援サービスの見直しについては、利用距離などの不公平感を是正するものである。

学校給食費については、保護者への急激な負担を緩和するため、市が一部負担をしながら段階的に値上げするものであり、毎年度価格決定する施策を講じている。　（ひかり議員）

# 9月定例会

# 一般質問に17人

※ここに掲載する質問・答弁は、9月8日～11日のものです。内容については、昨今の社会情勢・対応策等、日々状況が変わってきています。

市民の皆さんの身近な問題、市の予算や政策など、さまざまな課題について活発な議論を交わしました。

**村岡峰男**（7ページ）
- 令和6年度決算
- 令和7年猛暑
- 農林行政

**加藤勇貴**（7ページ）
- 制度の運用改善による不登校支援と「子どもの居場所づくり」の実効性向上
- 空き家の意識調査を踏まえた今後の空き家対策
- ブロードリスニングの有用性とTSCを活用した実証検討

**竹中理**（8ページ）
- 市民の移動確保
- 公営住宅
- 学校におけるメディアリテラシー教育
- 決算認定
- RSウイルス感染症

**芹澤正志**（8ページ）
- 地域の魅力づくり
- 円山川治水対策
- 有害鳥獣問題

**荒木慎大郎**（9ページ）
- 市民を熱中症から守る取り組み

**太田智博**（9ページ）
- 検討課題のその後の取り組み状況
- 有害鳥獣緊急対策
- 豊岡市食の自立支援事業
- 地域福祉活動支援事業
- 生活介護事業における障害支援区分認定

**前田敦司**（10ページ）
- 市内企業の支援
- 教育と子育て
- 健康とつながり

**中尾浩二**（10ページ）
- 農村部の持続可能な地域活性化の取り組み
- 国際理解教育
- 国際交流と観光振興による地域経済活性化

**石田清**（11ページ）
- 農業に係る猛暑・渇水対策
- 学校給食の無償化
- 決算

**義本みどり**（11ページ）
- クマ対策
- 決算
- 他自治体事例の活用
- 子育て支援

**浅田徹**（12ページ）
- 安全に安心して暮らせるまち
- 地域の伝統芸能・文化の保存と継承
- 農業の推進

**清水寛**（12ページ）
- 気候変動時代における成長戦略
- 超高齢社会に対応する持続可能な地域づくり
- 人口減少が進む中での住民自治の未来像

**須山泰一**（13ページ）
- 本市の財政
- 学生と若者支援
- 物価高騰対策
- 公共交通・バス
- デジタル化

**田中藤一郎**（13ページ）
- 豊岡市の財政と決算
- 豊岡市の教育と経済

**山田貴久**（14ページ）
- レジオネラ属菌
- 水道事業会計
- 下水道事業会計
- PFAS
- 個人市民税超過課税の低減策
- 上下水道管
- 市民文化会館整備
- 人事マネジメント
- 地域おこし協力隊
- 獣害対策
- ゴミ袋
- 公立小中学校の運営
- 「にぎわいのまちへ」

**上田伴子**（14ページ）
- 子ども医療費
- 幼・保のあり方計画
- 介護
- 会計年度任用職員
- ジェンダーギャップ解消施策
- 不登校生徒の進路指導

**福田嗣久**（15ページ）
- 市税
- 危険空家
- 市の経済政策
- 有害獣対策
- 米価高騰

## 市議会の本会議がインターネットでご覧になれます！



インターネットにより、定例会の様子をライブ中継と録画中継で映像配信しています。
ぜひご覧ください。

豊岡市議会インターネット中継　検索

スマートフォンでも定例会のライブ中継を配信!



## ブロードリスニング導入の意義は？

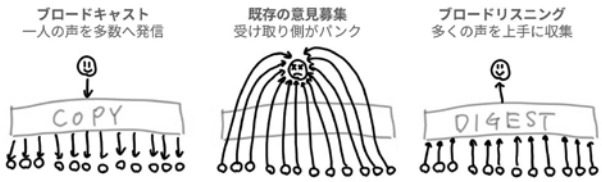
ことのは　**加藤 勇貴** 議員

答　多様な声を集める有効な仕組み

### 広聴AIで多様な声を聴取

問　声がなかなか届きにくい方々からの声を拾い上げる手段としてこのブロードリスニング、広聴AIというのは非常に有効であると考えるがどうか

答　属性の偏りが少なく多様な意見を聴取するには有用性が高く、大きな意義があるものと考えている。導入に向け、具体的に検討を進めている。




ブロードリスニングとは？



**議員のひとこと**
これまで声が届きにくかった若者や子育て世帯等多様な声を市政に反映できるチャンス

### 空き家対策は市民意識の改革から

問　空き家問題を自分ごととして捉えてもらうために市は今後どのように周知啓発を進めていくのか

答　空き家の放置は問題を生むため早期対応が必要である。冊子配布や固定資産税通知等で所有者に直接周知し、今後も工夫を重ねて啓発を進める。

### 不登校支援と子どもの居場所づくり

問　校内サポートルームは有効な取り組みだが少数の教員だけで多様な子どもに対応するのは限界では

答　教員だけでは限界があり、地域人材の活用が重要である。コミュニティスクールを通じて支援を進めるとともに、学校外の居場所としてふれあいルームやフリースクールの運営支援にも取り組んでいる。



**議員のひとこと**
子ども一人ひとりに合った安心できる居場所を確保することが、未来を拓く力につながります



## ※分収造林の維持管理はどうなるか

日本共産党豊岡市会議員団　**村岡 峰男** 議員

答　林業事業者委託か、公的管理に分かれる

問　兵庫県みどり公社から、「公益社団法人ひょうご農林機構」に業務が引き継がれている。最近になって、分収契約を解除して地権者である地域に返還するという説明がされているが、返還された山林とスギ・ヒノキなどはどうなるのか、間伐や枝打ちなど作業や作業道の管理はだれがするのか。

山林が持つ防災機能が失われて、災害危険度は増加しないか

答　みどり公社の行っていた分収造林事業の破綻後も、森林の公益的機能を維持していく必要から、分収契約者に対し新たな森林管理の方向性の説明会が行われた。収益が見込める森林は林業事業者に委託する。収益が見込めない森林は公的管理へ転換する。契約者がどちらかを選択することになる。公的管理となると地区の費用負担は発生しない。



**議員のひとこと**
人工林を解消して混合林にすることで、災害防止、獣害対策、地球温暖化対策が前進すると思うのだが

### 渇水対策支援は農家に寄り添って

問　市の「渇水緊急対策事業補助支援」は評価するが、申請に必要な領収書、写真がない場合の対応はどうか。また土地改良区などの役員が、連日対応に奔走されてきたが、これら人件費は含まれないのか

答　申請に必要な添付書類については、原則として領収書写し、位置図、写真等の添付をお願いしている。写真は困難な場合もあり柔軟に対応していく。法人等の人件費は、国や県の事業で対象とされていると聞いているので、県とも協議し検討したい。



渇水？ 倒伏と雑草で刈り残された稲

※分収造林：造林者と土地所有者が異なり、両者が造林による収益を分け合う契約をした山林

動画はこちら

動画はこちら



このページは質問者の責任において作成したものです。

## 未来のまちづくり提言への考えは



豊義会　**芹澤 正志 議員**

**答　地域との連携を円滑に進め協議していく**

**問　北但大震災100年記念プロジェクトからの提言についての市の考えは**

答　地域の医療、福祉、教育、観光など多岐にわたり政策判断を要する事項もあるので、各部局の検討結果がまとまり次第回答する。なお、市役所側のプロジェクトマネージャーは市長公室経営企画課がその役割を担う。




復興記念まちづくりシンポジウム

**問　無医村対策など医療の維持についての考えは**

答　提言を受けた「まちの診療所」という構想について、医療提供体制の維持・確保のための有効な選択肢の一つとして検討していく。

**問　地域の未来をつくる子どもの教育、人材育成の取り組みについての考えは**

答　小中一貫の義務教育学校の要望について、現在は適正規模・適正配置計画に入っていないので、一定の段取りが必要。４つ（城崎・港）の学校の合意形成が整ってくれば教育委員会として検討していく。地域の特性を生かした教育内容の作成は賛成なので、竹野の先行事例を参考にして進める。



**議員のひとこと**
未来を見据えた持続可能なまちづくり
ビジョンこそが地方創生の根幹です！

### 有害鳥獣対策

**問　ますます拡大しつつある有害鳥獣問題への対策は**

答　クマについては不要果樹の伐採の実施をし、県へは捕獲上限数の引上げ等を要望している。サルについては積極的に防護柵設置の支援をしている。また、徹底した頭数管理と猟友会と連携しながらシカ・イノシシも捕獲を実施している。

動画はこちら

## 移動難民を市としてどうしていくのか課題は山積



豊岡市議会公明党　**竹中 理 議員**

**答　先端技術を用いた自動化・省人化などが有効**

**問　バス型日本版ライドシェアがスタートする。全国初の取り組みだが応援したい。詳細と期待度、課題は**

答　公共ライドシェアの仕組みで取り組んできたが、今回竹野地域の予約型交通を全国で初めてのバス型日本版ライドシェアへと移行し運用を開始する。地域交通の最適化に大きく寄与するものと期待している。利用状況に応じて車両規模を柔軟に変更でき、将来的にはスクールバスや福祉施設利用者との乗り合い運輸など人材や車両を有効に活用する仕組みとなる可能性がある。




10月1日のイベントで予約型乗合交通に試乗する国土交通大臣
（出典：国交省ウェブサイト）

### 公営住宅

**問　物価高騰、最低賃金の値上げを反映し、収入基準の入居収入基準を見直すべきだがどうか**

答　新たに子育て世帯、若者夫婦世帯を対象とした収入基準額を月額25万9千円とする裁量階層を作ることを検討している。

**問　高齢で障がい者の入居家族の死亡により、収入基準が超過し減免がなくなり、家賃が倍額になったケースがある。適用時期の減免措置をすべきではないか**

答　家賃の適用時期等について、今後、県や他市町を参考にして研究をしていきたい。

**問　公営住宅の目的外使用について、市はいくつか行っているが、空き家が多いので、もっと検討すべきではないか**

答　市営住宅の中でも入居率の低い住宅の利活用を進める観点から、子育て世帯、若者夫婦世帯も対象となるよう、新たな目的外使用を現在検討している。

動画はこちら



## 配食サービス利用の世帯単位の考え方は

ひかり　**太田 智博 議員**

答　市内に住所を有する65歳以上の単身世帯

**問　食の自立支援事業は、調理が困難な高齢者に対し、週３回昼食弁当を配食するサービスであり、高齢者にとっては大変重要なサービスであるが、突然、配食サービスが却下となった理由は**

答　今年から市民税の課税状況や介護認定の状況などを確認するようにした結果、今年度更新申請された方のうち６名の方が対象外となった。通知書の郵送のみで対象外をお知らせしたことは適切な対応ではなかったと考えており、お詫び申し上げたい。再発防止を図っていく。

### 玄さん元気教室奨励金

**問　対象条件は「玄さん元気教室を週１回程度の実施」であり、実施することで奨励金として年間３万円が支給されているが、次年度から支給条件が厳しくなると聞いた。自治会によっては高齢化が進み、週１回の開催が困難であるとの意見もあるが、奨励金の考え方についてはどうか**



玄さん元気教室への奨励金支給条件の緩和を

答　奨励金交付決定通知書を送付した際に、文書で見直しの検討を表明したところ、一部の区長から「週１回になると教室の継続が難しい」との意見があり、検討を行う。

### 民生・児童委員の負担軽減策

**問　負担軽減策としての検討状況はどうか**

答　例会や研修会の回数を減らすこと。さらにタブレット端末の導入で、会議のオンライン化により出向く必要がなく、時間の制約なく会議録画を聞くこともできる。また、訪問活動も記録し関係者間で情報共有するなど、一定の負担軽減策につながるとの意見もある。タブレット端末導入への費用対効果も含め引き続き検討を行っていく。

動画はこちら



## 本市における熱中症発生件数（救急搬送）は

豊義会　**荒木 慎大郎 議員**

答　緊急搬送は８月末で 70 名、昨年は 71 名

**問　市民の熱中症を予防するために、どのような施策が行われているか**

答　豊岡市ホームページ、市の広報、防災行政無線の定時放送で熱中症予防行動の呼びかけを行うとともに、熱中症警戒アラートが発表された際には、防災行政無線で注意喚起の放送を行っている。

**問　市が関わるイベント等における熱中症対策について、全庁的に取り組む指針があるか**

答　現在、本市において市のイベント等における熱中症対策に関する全庁的な指針はないが、今後、イベント主催者が対応しやすいように、環境省の夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン等を、市のホームページで周知をしたい。

### 学校での熱中症対策

**問　移動教室や休み時間など、先生の目の届かない状況での備えはどのようにされているか**

答　教職員が順番に見守る体制の工夫に努めている。日頃から体調不良を起こした子どもやその周りの子どもが教職員に相談しやすい関係を築き、熱中症の早期発見につなげている。

### 部活動での熱中症対策

**問　外部指導員の方々に保健室の位置やクールスポット（熱中症の生徒を休ませる部屋）の確保などを指示されているか**

答　一つ一つの学校は確かめていないが、とても大切なことだと思うので、改めて確認をさせていただくと同時に、そういう連携もするように話をしていきたい。



**議員のひとこと**
猛暑も災害と思い、今後の対応の見直しを！



暑さ対策グッズやクールスポットなどの活用を

動画はこちら



このページは質問者の責任において作成したものです。

## 農村部の持続可能な地域交通のあり方



豊義会　**中尾 浩二 議員**

**答**　他市の事例を参考に導入の可能性等を探っていく

**問**　夏の危険な暑さの中で遠距離通学の安全確保のためのスクールバス等の対策はあるか

**答**　具体的な検証が必要だが、バスや人手の確保が課題で既存の部分をどうするか、行政の限界もある。他市で導入されている日傘や学校指定外の通気性のいいポロシャツなどの対策が必要。

**問**　養父市など多くの自治体で行われている自動運転社会実装推進事業を豊岡市でも取り組む予定はあるか

**答**　国土交通省の補助事業だが、道路状況や気象条件等運行可能な状況が限られ、運転費用も大きなハードルとなっている。今後人手不足など現在の交通体系で市民の移動を支えることも難しくなっていくため、他の自治体での実証例や事業者、国土交通省との意見交換を行うなど、豊岡市への導入の可能性を探っていきたい。



茨城県境町の自動運転車両
自動運転の導入実現の可能性は？



**議員のひとこと**
今後予測される課題とどう向き合うかが重要‼

**問**　40％近い高齢化率の豊岡市が、以前は自宅みとり率ナンバーワンで在宅医療の意識が高かったが、現在はどのような状況か。また、それに対する具体的な施策がどのようなものがあるか

**答**　住み慣れた自宅等で最後まで生活を続けていただくために、豊岡市医師会に在宅医療・介護連携支援センターを設置し、病院退院後の医師による訪問診療等の調整を行ったり、生活支援、在宅医療等総合相談体制を地域包括支援センターを中心に整えている。介護予防や認知症対策、多様な福祉施策の助成も行っている。現在のみとり率は25.3％と人口5～20万人規模で10位（令和3年度）。

動画はこちら

## 官民連携したスポーツツーリズムの推進を



豊義会　**前田 敦司 議員**

**答**　地域と連携した取り組みを前向きに進めたい

**問**　観光が基幹産業の一つでもある本市において、官民連携したスポーツツーリズムとして、他市への営業や施設整備を行うことで、さらなる誘客を見込むことができるのではないか

**答**　受入れ側として何が求められているのか、しっかりニーズの把握に努め、地域の皆さまの取り組みに対し、市としてどのような支援ができるのか、また、本市におけるスポーツツーリズムの推進に向けた方向性などを共に模索しながら、連携した取り組みを前向きに進めていきたい。

### コミュニティセンターを核とした買い物支援

**問**　人口減少、少子高齢化が進み、日常的な買物へのアクセスが難しくなっている市民の増加が社会問題となっており、買物難民という言葉も生まれる時代となってしまった。例えば、スーパーマーケットと連携し、曜日を決めてコミュニティセンターに移動販売車などが訪問することで、それらの課題を解決し、さらには、人との交流の機会をつくることで健康寿命を延ばすことができるのではと考えるがどうか

**答**　さまざまな先進事例を紹介し、お互いに学び合い、それぞれの組織が自分たちの地区事情に合った取り組みを進められるよう、情報共有や意見交換の場づくりを行っていきたい。



**議員のひとこと**
民間企業・市民の皆さんと意見交換を行いながら市民に望まれる政策推進を通じて、現役世代にとっても次世代にとってもより良い豊岡市の実現を

動画はこちら



## 兵庫県のクマの殺処分の現状を問う

ひかり　**義本 みどり 議員**

**答　県管理計画の見直しを強く求めていきたい**

**問　鳥獣保護管理法の下、クマの処分は県が判断し市は従うのみ。現在は3段階のどの段階が適用か**

答　兵庫県には円山川西側763頭、東側688頭の２個体群があり、400～800頭未満で第２段階。狩猟禁止、有害捕獲・殺処分は各個体群の８％が上限。

**問　現在の箱罠では、上限頭数までは殺処分が可能であり、危険性の高い個体には県の許可によりドラム缶檻を使って上限に関係なく殺処分できるという理解でよいか。また、昨年度、ドラム缶檻で捕獲された個体が放獣された理由は何か**



兵庫県では捕まっても逃がしてもらえるかも!?

答　おおむねその理解でよいが、※防除が不十分な場合は、ドラム缶檻での緊急捕獲でも県の殺処分許可が下りないことがある。このケースも防除が不十分という理由で殺処分ではなく放獣となった。

**問　国のデータでは、令和６年度の放獣数は兵庫県が全国最多の70頭（捕獲177、捕殺107）、京都府は11頭（捕獲291、捕殺280）と差がある。理由は計算方法の違いで、兵庫県は県内換算で数を減らす一方、京都府は800頭未満なのに「隣接県を加えると800頭に近く、人身被害も続発、未然防止の観点から捕殺上限を15％」と運用。この差はなぜなのか**

答　かつて絶滅危惧種とされた経緯から、兵庫県は現在も慎重な管理を続けていると推察。その背景は理解するが、近年は出没が常態化しており、実情に即した対応を県に強く求める。これは、県も市町も一体で取り組む課題であり、但馬でも連絡会議を設け共同で進めている。市民にも理解をいただき、県と市が連携して対応していきたい。



**議員のひとこと**
但馬の一大事を兵庫県の一大事と思ってほしい！

※**防除**：柿や栗の伐採や柵設置で熊を近づけない対策のこと

動画はこちら



## 米栽培の高温、渇水対策どう進めるか

令和とよおかクラブ　**石田 清 議員**

**答　品種改良、節水型栽培、熱中症対策が課題**

**問　農業の高温対策として、米の高温耐性品種の開発、導入は進んでいるか**

答　コシヒカリの改良品種として2031年度には一般栽培の開始が見込まれている。

**問　渇水対策、米栽培の省力化対策として節水型乾田直播は有効と思われるがどうか**

答　育苗が不要になるため人件費の節約などのメリットがあるが、専用機器のコスト、雑草対策、収量確保などの課題がある。

**問　農作業の熱中症対策としてラジコン草刈り機の導入などが有効と思われるがどうか**

答　コスト、効果の検証。また、共同導入も考える必要がある。

### 学校給食の無償化

**問　国は来年度から小学校の給食を無償化するというが、無償とする範囲、予算額、食材調達の仕組みなどが示されていない。市の問題点を問う**

答　無償化に当たって市の財政負担がある場合、地産地消への影響が及ぶ場合、中学校給食への負担が続くことを懸念している。

**問　小学校給食費が無償化された後、中学校の給食費保護者負担を軽減する考えはないか**

答　市独自で無償化するには、財源的に容易ではない。しかし、子育てに優しいまちづくりを目指す上で、さまざまな観点で検討する必要がある。



**議員のひとこと**
学校給食の無償化は、少子化対策の一環です。小学校給食費の無償化のみならず、中学校給食費の無償化も実現しなければなりません



学校給食センターごとに違う献立、食材調達も無償化の課題

動画はこちら



このページは質問者の責任において作成したものです。

## 持続可能な住民自治へ向け市の役割を変革しては



令和とよおかクラブ　**清水 寛 議員**

**答**　島根大学と共同研究の中で課題整理を期待

**問**　住民自治運営に係る実態調査の概要はどうか

**答**　共同研究では、行政区自体の実態を把握し、地域コミュニティ組織による行政区の補完可能性を検討目的に３種類の実態調査を行っている。１点目は、地域コミュニティ組織と区長・町内会長を対象としたアンケート。２点目は、事例地区として五荘・小坂・資母地区の区長への訪問ヒアリング。３点目は、資母地区内の西野々・高龍寺・坂野の３行政区の全世帯対象に訪問ヒアリング。これらの調査は並行実施しており、集計や分析後に事例地区等への報告会を予定。調査結果を参考に、今後の行政区あるいは地域コミュニティ組織のあり方や方向性、役割分担等の検討を図る。



つながりが希薄になるほど地域行事には合理化の波が

### 超高齢社会に対応する持続可能な地域づくり

**問**　現行の地域包括ケアシステムを抜本的に再構築する具体的な計画はどうか

**答**　医療や介護需要が増加、サービス供給が不足・減少する状況であり、既存の考え方や仕組みを再構築する必要がある。具体的な計画は、まず医療・介護分野における持続可能性を高めるために予防医療が重要であり、市内企業や団体等と連携し、働き盛り世代の生活習慣病予防・発症を減らす取り組みを検討し、医療や介護需要を減らす。重層的支援体制の整備は、来年度策定予定の次期地域福祉計画で、重層的支援体制整備事業を含め、より具体的で構造的な包括的支援体制を検討したい。医療・介護情報を連携させるＤＸの推進は、限られた医療・介護資源を有効に活用する観点から重要。まず※バイタルリンクの普及を最優先とし、そのほか他自治体の事例等を参考に研究したい。

※**バイタルリンク**：医療と介護の多職種連携システム

動画はこちら

## 1000年に一度の大雨は現実的に発生するのか



豊義会　**浅田 徹 議員**

**答**　発生し得る降雨量として内水排水の検討を進める

**問**　市は1000年に一度の想定降雨を時間最大130㎜、累計雨量を323㎜として内水浸水想定区域図を作成したが、豊岡の市街地は低平な田んぼを宅地造成により拡大しており、過去の浸水被害は上流の内水氾濫も原因の一つと考えられるため、流域治水として庁内内水対策検討会による対策の検討が必要だと考えるがどうか

**答**　ご指摘の通り、市街地は低い地形が広がっており、流域治水の考え方に基づき、あらゆる関係者が協働し、共有した情報をもとに全庁的な見地から調査・研究を行っていきたい。



豊岡の内水浸水常習化地区(内水浸水想定区域図作成を契機に抜本的･総合的な解決策を!)

### 地域の伝統芸能・文化の保存と継承

**問**　豊岡の盆踊りに専門職大学生が興味を持ち積極的に参画していることは非常に喜ばしいが、本市との事業連携についてはどうか。また、地域の伝統芸能・文化への児童生徒の関わり方について、教育委員会はどのように考えているのか

**答**　盆踊りは学生自らが地域行事を盛り上げようと参加した好事例と認識している。本市が受け入れた文化政策実習では、地域の民族芸能である地域行事に実習生として参加していただいた。

　また、地域に残る伝統文化等は、貴重な学習素材であり、体験を通した学びは、ふるさとを愛し、誇りに思う子どもの育成につながると考えている。

### 農業の推進

**問**　渇水対策については申請数が少ないため、補助対象の追加・拡大が必要と考えるがどうか

**答**　補助対象外となっている経費については、国・県の応急対策支援事業内容を踏まえて、県とも相談しながら対象経費の追加・拡大を検討する。

動画はこちら



## 人口減少対策、産業促進策、基盤整備について

令和とよおかクラブ　**田中 藤一郎 議員**

**答　プロジェクトチームで住みよいまちを目指す**

**問　消滅可能性の高い地域に対し、市としての人口減少対策および産業促進策と基盤整備はどうか**

答　地域課題解決のため庁内にプロジェクトチームを組成して住民の住みよい暮らしの実現を目指す。チームは、振興局やコミュニティ、交通、農業、医療、介護、観光、移住定住、ＤＸを担当する職員で構成し、他の部局にも参画を促していく。



**議員のひとこと**
本庁も本腰を入れ始めたこと、誠に頼もしい限り。今後はスピード感がとても重要

### 公共施設マネジメント

**問　市街地以外では、必要な公共施設がなくなりそれが人口減少につながっている。各地域はより一層衰退していくことから、そのことを踏まえ、次期公共施設マネジメント計画を作成していただきたいがどうか**

答　算定ありきでなく地域懇談会との協議も踏まえ、地域に必要な公共施設を慎重に考えていく。



**議員のひとこと**
各地域の施設計画は、今後その地域に住めるのかということを重要事項として捉えてほしい

### 教育と学校運営

**問　教育現場ではコロナ禍以降、学校と保護者・地域の希薄化が進んでいるが関わりはどうか**

答　学校行事を見直し、学校運営協議会の場で、今まで以上に保護者・地域との連携を密にしたい。

**問　近年、学校への不登校生が著しく増えている問題で、今後の支援のあり方はどうか**

答　子ども達の背景や課題は多様化、複雑化しており、その子に合った支援を考えていく。

動画はこちら



## 上限200円バスの取り組みを本市でもできないか

日本共産党豊岡市会議員団　**須山 泰一 議員**

**答　近隣市町との料金差の実態は十分承知している**

**問　路線バス、市バスについて、近隣の市町との料金差が大きい。運賃の上限設定をできないか**

答　京丹後市では上限200円、また、但馬内の複数の市町でも、高齢者等に限ってではあるが、運賃補助制度の適用により、実質的には上限が設定されているなど、豊岡市との料金差が生じている実態は十分承知している。



京丹後市の200円バス説明資料

### 中小企業奨学金返済支援制度の創設

**問　300万円もの奨学金返済を背負って社会に出ていく学生も多い中で、本市の中小企業奨学金返済支援制度の創設を歓迎する。制度利用企業が今後増えていくために何が必要か**

答　本制度は、40歳未満の方までを幅広く対象としており、新卒の学生だけでなく、転職者や中途採用者、Ｕターン、Ｉターン者にとっても恩恵がある。そういう実例を紹介し、制度を理解いただき、多くの企業に参画いただきたい。

### 本市の基金残高は大きく増えている

**問　財政調整基金はいろんなことに使える基金だが、2020年度の53億円から、2024年度決算では61億円へ、８億円も増えている。本市の財政は厳しいと言いながら基金は増えている。**
**今以上に市民サービスを充実させることができるのではないか**

答　確かに、2024年度の財政調整基金は61億円になった。これはいろいろ努力した結果であり、必ずしも悪いことではない。



**議員のひとこと**
水道料金引き上げ、外出支援サービス引き上げ等、市民負担は増えている。努力したのは市民だ

動画はこちら



このページは質問者の責任において作成したものです。

## 継続雇用の会計年度任用職員の試験は廃止を



日本共産党豊岡市会議員団　**上田 伴子 議員**

**答**　平等取り扱いの原則から公募し、試験を行う

**問**　会計年度任用職員はフルタイムとパートタイムがあり、大きな差は退職金である。制度により、フルタイムとパートタイムに分けて任命されているが、10年以上も勤務して責任ある仕事をしている人も多い。事務職は10年で昇給停止になり、他の職種は17年～20年と昇給停止の年限は長い。改善するように制度設計願いたいがどうか。また、経験者への試験の撤廃を要望するがどうか

**答**　各部署において、その職の業務量等から判断し任命を行っている。昇給停止の状況は表として初めて見た。国、他の市町の状況も見て研究してみたい。再度の任用となる方のみ試験を行わないということが平等取り扱いの観点から適切でないので、３年に一度公募し、試験を行う。



**議員のひとこと**
会計年度任用職員の数は655人、事務職員も補助ではなく、責任ある仕事をしている。経験年数も長いのに賃金は低い。試験廃止は当然なことだ

### 訪問介護事業所の支援、人材不足へ支援を

**問**　国の介護報酬引き下げで事業所が閉鎖せざるを得ない事態だと聞くが市の対策はどうか。また、人材不足は深刻である。賃金を上げるための支援策はどうか

**答**　８月末に市内15か所の事業所を訪問、ヒアリングをした。訪問介護事業所への支援については、支援策の検討を始めた。基本報酬が2.0％引き下げられて経営に影響を与えている。それを補填する支援についても幅広く検討していく。



介護事業所はどこも人手不足で大変！　市の支援を！

動画はこちら

## 当局は、化学物質管理の知識が不足しているのか



ともにとよおか。　**山田 貴久 議員**

**答**　今後はご指導いただければと思う

### 個人市民税超過課税減税策でのふるさと納税

**問**　6月議会で提案した件について検討状況はどうか

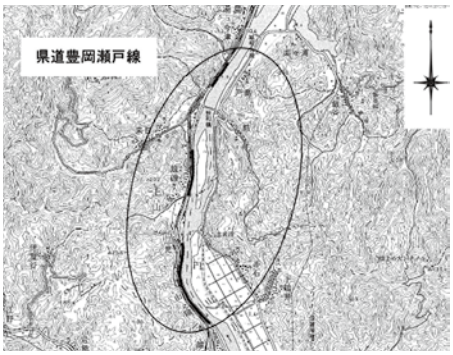
**答**　もう一段階のステップアップに向け、さらなる工夫も必要と考えており、市長からの検討の指示を受けている。

**問**　この4、5年が本当に勝負だと考える。ぜひともふるさと納税30億を目指して早急に対応すべきと考えるがどうか

**答**　制度がなくなるという危機感をもちつつ、次のステップへ向けた検討を進めてまいりたい。

### ねずみ鋳鉄管の取替え工事の実施

**問**　640ｍのねずみ鋳鉄管の入替え工事を早急に実施してはどうか。県道豊岡瀬戸線にねずみ鋳鉄管はあるか




城崎にいたる県道豊岡瀬戸線の地中にねずみ鋳鉄管あり

**答**　その間にある。

### 市民文化会館整備

**問**　整備賛成派であるが市民意識はどこまで醸成できているか。民意の醸成や賛成でない方の意見も反映する必要がないか。

**答**　2018年実施の市民アンケートは建設すべきか否かといった趣旨のアンケートではない。

### 獣害対策のうちシカ対策

**問**　雌シカを選択的に捕まえることを考えたか

**答**　選択的にということは聞いたことが無い。

**問**　雌シカはミネラル不足になるので岩塩や海水を餌として与えておびき寄せてはどうか

**答**　勉強してみたい。



**議員のひとこと**
当局に少鹿（しょうしか）対策論文を差し上げた。この論文を参考に対策を考えてほしい

動画はこちら

## 9月議会で提出された意見書など

市議会では、市民や地域の声を反映するためにさまざまな仕組みがあり、その代表的なものが **意見書** と **請願** です。
9月議会では以下の意見書と請願が提出されました。

※【意見書】は市議会が議決し、国や県など外部に「市議会としての要望や意見」を伝えるもので、【請願】は市民の皆さんが議員を通じて提出できる「市などへの要望書」で、市議会に提出されたものは、議会が必ず審査します。

**意見書　第5号**
**自治体情報システムの標準化に関する意見書**

従前のシステムと比較して、ガバメントクラウドを活用した標準準拠システムへ移行したことにより増加する運用経費について、全額国庫負担による財源措置を講ずること。

**意見書　第6号**
**外国人生徒特別枠選抜制度の導入に関する意見書**

日本語のサポートを必要とする外国にルーツを持つ生徒が、安心して学べる教育環境を整えるため、但馬地域、豊岡市内の公立高校において「外国人生徒特別枠選抜」の対象校を設けるよう要望する。

（理由）
この制度は、外国にルーツを持つ生徒たちに高校進学の機会を広げ、入学後も日本語の継続的なサポートを行う、非常に大切な取り組みだと考えている。しかしながら、但馬地域にはまだ対象校がなく、学ぶチャンスが十分にない状況である。外国にルーツを持つ生徒が、自分らしく生きるために、自由に高校を選べることはとても大切なことだと考えられる。
文部科学省の調査でも、日本語のサポートが必要な生徒たちが直面する課題が明らかになっている。そのため、地方自治体としても、より積極的な支援体制を築くことが求められている。本市においても、多文化共生という考えを大切に、さまざまな施策を進めている。この考えを教育の場でも実現するには、制度を地域全体に広げることが必要だと考えている。

※同制度は高校の定数の中に外国人生徒特別枠を設けるものではなく、定数を増やし、外国人生徒特別枠を設けるものです。

**請願第1号**
**豊岡市内の高校に外国人生徒特別枠選抜制度の導入**
提出者：特定非営利活動法人にほんご豊岡あいうえお
理事長　植村健二
紹介議員：西田 真　義本みどり
日本語支援等を必要とする外国にルーツを持つ生徒支援の一環として、豊岡市内の公立高等学校において外国人生徒特別枠選抜制度を導入することを求める。
（一部抜粋）
**審議結果：みなし採択**



## 市民の暮らし向きをどう判断しているか

令和とよおかクラブ　**福田 嗣久 議員**

**答**　物価高で大変厳しいと判断している

**問**　空き家解体費用の増加についての見解は。市の解体費補助の増額についての考えはどうか

**答**　解体費用が高額になっていることは認識、年々増加傾向にある。補助対象は上限200万円、6分の1で最大33万3千円補助。本市の空き家数6,990戸、空き家率19.2％、5軒に１軒が空き家の状態。市の補助の増額は考えていない。

**問**　危険空き家を処分してほしいとの思いがある中、固定資産税の住宅用地特例の６分の１特例、３分の１特例を続けるのはどうか。解体すればどれだけ税収が上がるか。通常の評価で税収増がどの程度となり、その税収で解体補助を増やすことを考えたことがあるか

**答**　そこまでの考えに至っていない。政策評価の判断として検討に値する切り口であると考えられる。解体補助を増額することが固定資産税の増収要素になるのではという政策評価の中で検討できるかもしれないとの思いで聞いた。



高額な解体費に流通しない土地

**問**　政府の言う物価高と賃金上昇の好循環についての見解と、その好循環による市民の暮らし向きをどう判断しているか

**答**　4月から６月期景況感は大きく悪化。７月から９月の見通しもさらに悪化と見ている業種が多い。価格転嫁できていないとうかがえ、小企業の景況はより厳しいと判断。市民の暮らし向きは物価高の影響が大きく、大変厳しいと判断している。

**問**　市民の生活安定を求めてお金を使うことがメリハリの利いた使い方と思うがどうか

**答**　しっかりと事業、時期を逃さないように検討は進めたい。

動画はこちら



このページは質問者の責任において作成したものです。

# 委員会管外視察報告

## 議会広報広聴特別委員会（7月15日～16日）

### 市民に「手に取ってもらえる」議会だより（広島県呉市）

呉市の議会だよりは、雑誌のような紙面構成で、読みやすさと親しみやすさを重視し、何より「まず見てもらう！」というコンセプトのもと、市民との距離を縮める工夫が随所に見られた。

裏表紙には「将来の夢」を語る小学生の子どもが、写真付きで毎号掲載されており、議会に関心のない人たちにも手に取ってもらえる工夫を感じた。



呉市からの熱のこもった説明

### 議会が伝えたいことと市民が知りたいことは違う（兵庫県神河町）

神河町の議会だよりは、「議会が伝えたいこと」と「市民が知りたいこと」の違いを意識した構成で、町民が興味を持つ特集などがあり、さらには議会だよりタイトルを町内の小中高生から募集し、採用者も紹介することや、全ページフルカラーの紙面づくりなどで、町民の関心を呼び起こす工夫がなされており、大変参考となる視察となった。

## 交通網問題対策等調査特別委員会（7月14日～15日）


自動運転車両を試乗する委員

### 国内初のレベル４自動運転『ZENdrive』（ゼンドライブ）社会実装の取り組み（福井県永平寺町まちづくり株式会社「ZENコネクト」）

町道２㎞を国内初のレベル４自動運転サービスを行っている。車両内には運行従事者は無人で、遠隔監視で運行を管理している。

自動運転の導入が目的ではない。公共交通のドライバー不足など自動運転で何を解決するかが大事である。冬季の運行休止など課題も多いが、この技術の動向は注視していく必要がある。

### 上限200円バスを含む交通政策（京都府京丹後市）

現状は、空気しか運んでいないバス交通。利便性低下でさらなる利用減少の悪循環。乗って守ろう的な利用促進策は効果が見られない。という状態であった。

バス維持の補助が突出していたが、同じ補助をするなら乗っていただける補助をしようと、700円で２人の利用より、200円で７人の利用という方針で、乗車人員は2.5倍に増加。鉄道利用にもこの考えを応用している。運賃と利用の考え方は合理的で参考になる。

# 委員会管外視察報告

## 防災対策調査特別委員会（7月15日）

### 北淡震災記念公園・野島断層保存館（兵庫県淡路市）

阪神・淡路大震災の震源域に位置し、活断層「野島断層」を原形のまま保存・展示している。屋内保存された断層を目の前で見学できる。また、震災体験館では、VR装置を用いて震度7クラスの揺れを疑似体験できる「地震体験装置」を設置。大震災の発生源やメカニズムを視覚的に学び、地震体験装置により、揺れの大きさを体感することで多角的に震災についての理解を深める機会となった。

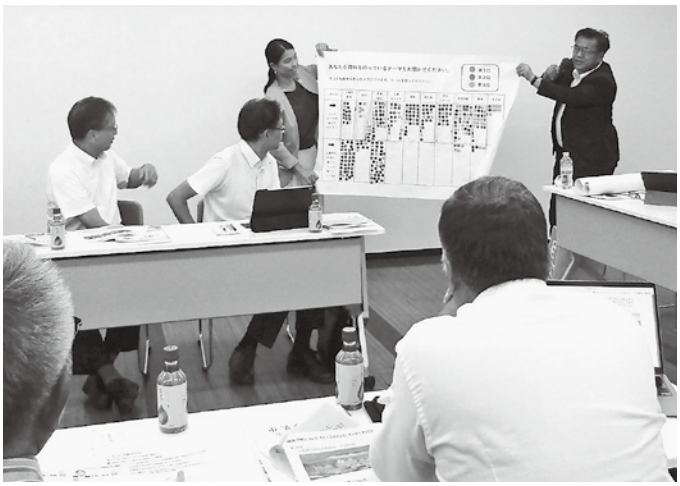
### 阪神・淡路大震災記念　人と防災未来センター（兵庫県神戸市）

阪神・淡路大震災から30年を迎え、関連イベントが開催されており、様々な特別展示も観覧できた。特に、発生の懸念が増している南海トラフ大地震を想定した「津波災害」に関する展示や映像も多く、防災意識の向上に向けた取り組みについて見識を深める機会となった。震災後30年に渡る「創造的復興」の成果や課題についても知る機会となり、各委員で見識を深めることができた。



VRを使用した地震の揺れを体験する委員

## 議会運営委員会（8月6日～7日）


三次市で説明を受ける委員

### 議会改革・広報広聴の取り組みについて（広島県三次市）

「広報広聴」を常任委員会により推進されている。主なものは「議員と話そう（議会報告会・懇談会）」、「中学生・高校生との交流会」および「出張型意見交換会」で、幅広い年齢層や地域住民との対話により、行政ニーズの把握に努められている。特筆すべきは「議員活動自己検証シート」により、自らの議員活動を検証・可視化をされており、議会と市民の距離を縮める取り組みが参考となった。

### 議会改革・議会活性化の取り組みについて（岡山県真庭市）

「政策提言」「市民参加」「情報公開」の三本柱を戦略的取り組みとして推進されている。最大の特徴としては、常任委員会で調査研究、市民との意見交換を経て全会一致されたものだけを市長に提言し、市政に反映されている。また、議会報告会を見直し「ざっくばらんに語ろう」や大規模な「議会講演会」が実施されている。本市議会でも参考にし活性化に繋げていきたい。

## 総務委員会（7月11日）

### 一般社団法人「ちいきのて」と懇談しました

総務委員会の広聴活動として今年は、「ちいきのて」との懇談を行った。29のコミュニティのコーディネーター、中間支援組織として立ち上げられた「ちいきのて」。

支援の必要性の中に、公民館から地域コミュニティ組織への変化への対応があるが、いまだ多くの市民の中に、公民館との違いが理解できていない状況があることに着目したいと思った。

20年設立時からの男性代表理事、４名の女性職員で構成されているが、驚きは４名が東京都などからの地域おこし協力隊員として豊岡市に来て、豊岡にそのまま住み続けていることである。

「豊岡を支えてくれてありがとう」という思いになった。コミュニティの支援は、地域の課題の洗い出しから、既存事業も交えたプログラム作成・実施・進捗管理まで地域住民でない『新鮮な目線』が歓迎されているのだと思った。

大変忙しく過労死ラインぎりぎりで働いているとか。どうか働きすぎないようにコミュニティの良き相談相手として、また地域活性化に、力と知恵を貸し続けてほしい。



スライドを真剣に見る委員

## 文教民生委員会（8月5日）

### 豊岡市社会福祉協議会との意見交換会

豊岡市社会福祉協議会の現状と課題について、文教民生委員会と意見交換会を実施した。

社協からは、介護報酬の引き下げや寄付金の減少等により、平成25年から赤字経営が続く厳しい財政状況が報告された。

特に、民間事業者が参入しにくい中山間地域での介護サービスや買い物困難者支援、生活困窮者支援といった地域福祉活動は、ヘルパーの高齢化と深刻な人手不足により、サービスの維持が困難な状況にあることが明らかになった。



活発な社協との意見交換

当委員会としては、社協が市民の暮らしに不可欠なセーフティネット機能を果たしていると再認識した上で、その財政基盤の脆弱性は、地域福祉全体の質の低下に直結する喫緊の課題であると考える。

市と社協はパートナーとして持続可能な運営に向けた実効性のある支援策、とりわけ財政基盤の安定化に向けて真剣に検討すべきである。当委員会としても、今後定期的に意見交換を実施し、現状把握に努めていく所存である。

# その後どうなった?!



## 6月定例会の委員会審査における委員会意見と回答

全文はこちら

### ☞ 介護事業者の補助金不正受給

補助金の支出にあたっては、審査書類としての正確性はもちろん、法人としての実態をしっかり調査把握した上で、取り組んでいただきたい。 **（文教民生委員会）**

再発防止策として、補助金交付申請時の添付資料に経営状況が把握できる書類等を追加し、法人の実態把握に努める。 **（高年介護課）**

### ☞ 水道料金の減額

水道料金の基本料金を２か月分減額するという提案ではあるが、物価高騰等の影響を受ける市民の生活を支援するために減額期間のさらなる延長を検討いただきたい。 **（建設経済委員会）**

物価高騰対応の地方創生臨時交付金として、国からは予備費を財源に約4,600万円が措置された。

当該金額では基本料金の１か月分の減額に相当するだけで効果が低いと判断。限られた財源の中から措置額と同規模の一般財源約4,100万円を追加し、２か月分の減額とした。そのため、減額期間の延長については、臨時交付金の追加がない限り想定はしていない。 **（水道課・財政課）**

# 第34回全国市町村交流レガッタ 豊岡大会に参加して

## ～ 3位入賞 ～

９月27日と28日に、第34回全国市町村交流レガッタ豊岡大会が円山川公苑特設会場で開催されました。

晴天の下、全国各地から113クルー、約800人の選手が一堂に会し、私たち「ワイルドウェーブス」は議会議員の部に出場、27クルー中３位と好成績を収めました。当日は、チーム名のように波が高く、向かい風でしたが、息を合わせ、体力の限界まで全力で漕ぎ抜きました。



さあ、がんばるぞー



表彰式の様子

豊岡市内からは、各部、合計11チームが参加し、女子160歳未満の部の「豊岡エレキテル１号」が３位と見事な結果を残されました。

全国の多くの皆さんと交流できたこともたいへん有意義な大会でした。

大会の運営にご尽力いただいた皆さまと大きな声援をいただいた皆さまに感謝申し上げます。





# 議会を傍聴してひとこと

～たくさんの方が傍聴にお越しいただきました。ご感想の一部を掲載させていただきます～

60代（男性）
議員もしっかり勉強されて質問をされている様子がうかがえた。市当局も親切に答弁されており信頼できる。今後とも市政を推進される両輪として機能されることを期待しております。

80代（男性）
機会があればまた参加したい。大変良いことばかりでよかった。

40代（女性）
紙面ではわからない、細かい点まで公聴できて、とても充実しました。

60代（男性）
いろいろ勉強され質問されていることはよくわかりました。少し議会が形式的になっているようにも感じました。

60代（男性）
10月市議会選挙後の12月議会に傍聴に来ます。

（男性）
議員と行政側もう少し緊張感があっても良いと思った。



60代（男性）
答弁が具体的で良かったと思う。議員の質問がもう少しつっこんだ内容にしてほしいと思う。

70代（男性）
事前通告しているのであれば、もう少し自分の意見もまとめてほしいと思う。クマ対策よく理解できました。

60代（男性）
単なる質問に終わってしまうケースが多い。一方、質問を通して、議論を深めるように誘導される議員もおられ、「政治」の醍醐味に触れる思いに至った。

70代（男性）
資産の運用方法や経常収支に関する事柄など、民間の経営向上に似た事項の問題もあり、感心しました。ただ、回答において、時期・規模等の具体的なものが少なく、検討しますの答弁は少し残念に思いました。

## 12月定例会の日程（予定）

| | |
|---|---|
| 開　　会 | 11月28日（金）　9時30分～ |
| 一般質問 | 12月８日（月）～11日（木）　9時30分～ |
| 常任委員会審査<br>（総務・文教民生・建設経済） | 12月15日（月）　9時30分～ |
| 常任委員会審査（予算決算） | 12月11日（木）※1、22日（月）13時～ |
| 特別委員会審査 | 12月22日（月）　9時30分～ |
| 閉　　会 | 12月24日（水）　9時30分～ |

※1　一般質問終了後に開催

【傍聴について】
　一時保育（無料）もありますので、一時保育利用希望者は１週間前までにお申し込みください。また、豊岡市議会インターネット中継によりパソコン、スマートフォンから審議の様子を生中継でご覧いただけます。

■問合せ／豊岡市議会事務局
☎ 0796-23-1119

## 議会広報広聴特別委員会

一年間ありがとうございました




## 編集後記

▼今期最後の「議会だより」となりました。この一年間、議会広報広聴特別委員会では、市民の皆さまに親しんでいただけるよう、記事の読みやすさに配慮しつつ横書きにするなど、大幅なレイアウト変更を行いました。皆さまの評価は如何でしたでしょうか？
　その評価は皆さまにお任せするとして、機会があれば感想をお聴かせください。
▼今後も、より多くの皆さまに手に取って読んでいただけるよう、皆さまに愛される議会広報誌「議会だより」を目指します。（あしだ　たけひこ）



UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。